

「表現者」の道へ絵本創作

深志高出身 島田瞳さん北欧で学ぶ

松本深志高校（松本市）を卒業し、北欧での学生生活や就職を経験した島田瞳さん（30）が、言葉や写真を介した「表現者」としての挑戦を始めた。人生に正解を求めるのではなく「ありのままの自分を受け入れ、シンプルに暮らす」北欧の人々に支えられた経験から、現地での気付きを生かした

創作絵本の制作を開始。あくせくした現代社会において、作品を通じて「誰かにそっと寄り添える存在になりたい」と出版の道を模索している。

「かのじよは、社長です／かめからみたのほか『合わないくつをぬいで』『地球に生まれた、わたし』など、これまでに6冊の創作絵本を自ら製本して手作り。松本市街地で7月25日に初の個展を開き、北欧で撮影した写真とともに公開した。深志高から金沢大学に進み、在学中はドイツに留学。金沢大経済学類を首席で卒業した後、スウェーデンのルンド大学大学院への進学や国際NGOでのインターンを経て、デンマークの現地企業に勤務した。一方、計6年を過ごした北欧では、キャリアを築くこととは別の視点から「自分と向き合う時間がたくさんあった」という。日本での学生時代は

人からの評価に一喜一憂し、どこかに正解を探すがいた。しかしカウンセリングが盛んなデンマークでは「自分の心の声に従う」必要を説かれた。人々の暮らしには自然

初個展会場で作品に囲まれる島田さん
が隣り合い、海や森で過ごす中で深呼吸することができた。「北欧に暮らして、自分が好きになった。ありのままの自分を受け入れるようになった」と語る。

